

団体名：周南市安田の糸あやつり人形芝居保存会

活動名：糸あやつり人形芝居保存・継承活動

代表者 / 末 ^{すえ} 松 ^{まつ} 武 ^{たけし}

所在地 / 周南市安田 562-2 三丘徳修館内

活動紹介

活動の目的

江戸時代から約200年の歴史を持つ郷土芸能、山口県指定無形民俗文化財「周南市安田の糸あやつり人形芝居」の保存・伝承はもちろん、特に、後継者となる青少年の健全育成に努め、併せて郷土愛や文化の向上に寄与することを目的としています。

これまでの活動の様子（内容）

平成7年4月、周南市立三丘小学校（当時、清水孝子校長）に「三丘小人形浄瑠璃の会」が誕生しました。以来、児童に指導を継続中です。現在11年目。学期毎に発表上演を実施しています。

平成15年度より、公民館・三丘徳修館において、小学校4～6年生、及び中学生を対象に「伝統文化こども教室」を開講しています。主として、土曜日と夏休みに実施し、現在3年目です。最近では、7月16日（土）に新南陽ふれあいセンターで行われた山口県青少年健全育成大会に、子どもたちが参加し、人形芝居を上演しました。

平成17年度より、山口県立熊毛北高等学校（吉村高男校長）の総合的学習の時間（毎週金曜日）に人形浄瑠璃芝居指導を開始しました。来年の発表会を目指して、三味線、人形操作、浄瑠璃語りの稽古中です。

その他、地域の文化祭、徳修館まつりなどに積極的に参加し、パーデンケアハウス・特別養護老人ホーム「天王園」の慰問講演は、毎年、実施しています。

会員の研鑽は、毎月第2・第4火曜日（午後7時30分～午後10時）に徳修館に集まって、浄瑠璃語り、人形あやつり、三味線、舞台小道具修理、人形の繕いなど続けています。

活動の展望

人形浄瑠璃芝居後継者育成を通じ、子どもたちとの接点が増え、地域社会の一員として、子どもたちを犯罪や交通事故から「守ろう」という意識が高まり、一方、子どもたちからも慕われ、親しまれ、微力ながらもより良い社会、環境の実現に貢献したいと思っています。人形浄瑠璃の指導を受けた子どもたちも、大きい声、舞台度胸が身に付き、周囲からも好評をいただいています。



糸あやつりの子どもたちの指導



糸あやつり人形浄瑠璃芝居の上演